

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	IT (information technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜5,6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。 ※実務者経験: 専門学校にてWord, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関する授業を約15年行う。</p> <p>【到達目標】 ①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。</p>							

授業計画・内容			
1回目	ITガイダンス com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。		
2回目	Word1 基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。		
3回目	Word2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。		
4回目	Word3 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。		
5回目	Word4 図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。		
6回目	PowerPoint1 基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。		
7回目	PowerPoint2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。		
8回目	PowerPoint3 作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。		
9回目	PowerPoint4 作成したスライドに動画を入れることができる。		
10回目	PowerPoint5-① プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
11回目	PowerPoint5-② プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
12回目	PowerPoint5-③ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
13回目	PowerPoint5-④ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
14回目	PowerPoint6-① 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。		
15回目	PowerPoint6-② 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。		
準備学習 時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくこと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。		
評価方法	定期試験50% 課題成果50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
受講生への メッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。		
<p>【使用教科書・教材・参考書】 テキスト: 株式会社滋慶出版 COMPUTER BASIC WORD 2013・2016 その他: プリントを用意 データ保存用記憶媒体 (USBフラッシュメモリ)</p>			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	IT (information technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようにします。 ※実務者経験：専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関する授業を約15年行う。							
【到達目標】 Word: 基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。 Excel: 基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。							

授業計画・内容			
1回目	Word1-1 基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。		
2回目	Word1-2 基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。		
3回目	Word2-1 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。		
4回目	Word2-2 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。		
5回目	Word3-1 表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。		
6回目	Word3-2 表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。		
7回目	Word4 Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。(中間試験)		
8回目	Excel1-1 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く)		
9回目	Excel1-2 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式)		
10回目	Excel1-3 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算)		
11回目	Excel2-1 棒グラフの作成をすることができる。		
12回目	Excel2-2 円グラフの作成をすることができる。		
13回目	Excel2-3 複合グラフの作成をことができ、表とグラフを印刷することができる。		
14回目	Excel3 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。		
15回目	Excel4 Excelで表とグラフを作成することができる。(期末試験)		
準備学習 時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくこと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。		
評価方法	中間試験と期末試験 80% タイピング・課題成果 20%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	Word, Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
受講生への メッセージ	IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 テキスト: 株式会社滋慶出版 COMPUTER BASIC WORD 2013・2016 その他: プリントを用意 データ保存用記憶媒体 (USBフラッシュメモリ)			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンピューターミュージック I (Computer music I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜4,5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	授業内容説明、DTMでの作業及び作曲の手順について、PCの立ち上げ、セッション作成、保存を習得		
2回目	Logic, GarageBand① 機能の説明/302講習 8の字巻きが出来る		
3回目	Logic, GarageBand② 機能の説明、ツールを理解出来る		
4回目	Logic, GarageBand③ 打ち込み練習(Drum)・トラックスタックを習得		
5回目	Logic, GarageBand④ 打ち込みが出来る(Drum, Bass)		
6回目	Logic, GarageBand⑤ 打ち込みが出来る(Drum, Bass, Piano)		
7回目	Logic, GarageBand⑥ 打ち込みが出来る(Drum, Bass, Piano, Guitar)		
8回目	Logic, GarageBand⑦ 打ち込みが出来る		
9回目	Logic, GarageBand⑦ Plug inの基本、説明(AUX, BUS)が理解できる		
10回目	Logic, GarageBand⑧ Plug inの説明(Reverbとその種類)が理解できる		
11回目	Logic, GarageBand⑨ Plug inの説明(Compressor, EQ)が理解できる		
12回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの復習		
13回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
14回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ	毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンピューターミュージック I (Computer music I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜4,5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	マイクの種類について説明出来る	
2回目	色々な種類のマイクを使った録音出来る	
3回目	音質(ビットレート)・圧縮データ/非圧縮データ・バウンスについて理解できる	
4回目	オートメーションを書く(strings EQ) 拍子・BPMの切り替え出来る	
5回目	自身の曲の曲作り	
6回目	自身の曲の歌どりが出来る	
7回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得	
8回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得	
9回目	簡単Mix① 音量と配置を理解出来る	
10回目	簡単Mix② CompressorとEQを使う事が出来る	
11回目	簡単Mix③ 空間系プラグインを使う事が出来る(reverb他)	
12回目	①②③を実際に応用できる	
13回目	①②③を実際に応用できる	
14回目	これまでの授業の復習、応用	
15回目	実技テスト	
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ	毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンピューターミュージックⅡ (Computer musicⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	能登谷寛明
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜2,3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) レコーディングを行って行く上で必ず操作が必要になるProtoolsの基本的な操作を習得し、仕組みを説明出来る。 <講師プロフィール>ドラム・エンジニアリング担当として、平原綾香 平原まこと 松田陽子 nicco ポルノグラフィティ等、多数のアーティストに参加。							
【到達目標】 レコーディング時や編集の際、Protoolsの操作をスムーズに行えるようにする。最終的には全ての操作をショートカットキーを使用して行えるようにする。							

授業計画・内容		
1回目	Pro Toolsとは何か？どういことが出来るのか？実際にセッションを作り演習を行う	
2回目	クリックトラックの作成。クリックの音色選びを習得	
3回目	クリックトラックの書き出し、4分8分の作成を習得	
4回目	バンドレック用のセッションの作成を習得	
5回目	バンドレック後のセッションの編集を習得	
6回目	リバーブ・ディレイの使い方を習得	
7回目	ドラムデータのEdit、手動で編集箇所を探る技術を習得	
8回目	ドラムデータのEdit、Beatdetectiveの使い方を習得	
9回目	データを引き継いで作業を再開する時のセッションの保存方法を習得	
10回目	編集データと納品データの作成と保存方法を習得	
11回目	レコーディングを想定したセッションを作り演習を行う	
12回目	レコーディングを想定したセッションを作り演習を行う	
13回目	レコーディングを想定したセッションを作り演習を行う	
14回目	レコーディングを想定したセッションを作り演習を行う	
15回目	総復習	
準備学習 時間外学習	時間を見つけてPro Toolsを触ってください	
評価方法	1. 定期試験(%) <small>評価はGPA制度 80~90点 S</small> 2. 小テスト(%) <small>80~70点 A</small> 3. レポート(%) <small>70~60点 B</small> 4. 課題成果(%) <small>60~50点 C</small> 5. 実地試験(%) <small>50~40点 D</small> F不合格	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	ミスなく素早くスムーズに操作が出来るようになるように操作を何度も何度も繰り返して復習していきます。	
【使用教科書・教材・参考書】 Pro Tools12 徹底操作ガイド		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	コンピューターミュージックⅡ (Computer musicⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	能登谷寛明
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜2,3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) リファレンスの音を徹底的に分析して、完全再現を目指す (講師プロフィール)ドラム・エンジニアリング担当として、平原綾香 平原まこと 松田陽子 nicco ポルノグラフィティ等、多数のアーティストに参加。							
【到達目標】 音を作るにあたってエンジニアで出来る事、プレイヤー側で出来る事を十分に理解し、ディスカッション出来るようになる							

授業計画・内容		
1回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
2回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
3回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
4回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
5回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
6回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
7回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
8回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
9回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
10回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
11回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
12回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
13回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
14回目	実際にリファレンスの音と生のドラム音を比べて、ディスカッションしながらサウンドを作る演習を行う	
15回目	総復習	
準備学習 時間外学習	時間を見つけてサウンドのイメージを常に意識してください	
評価方法	1. 定期試験(%) <small>評価方法GPA制度 90点 S</small> 2. 小テスト(%) <small>80点 A</small> 3. レポート(%) <small>70点 B</small> 4. 課題成果(%) <small>60点 C</small> 5. 実地試験(%) <small>50点 F 不合格</small>	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	ミュージシャンとコミュニケーションをとって、共に音作りをしていく事に慣れてください	
【使用教科書・教材・参考書】 Pro Tools12 徹底操作ガイド		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	レコーディング I (Recording I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜3,4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。 実務者経験: 株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。							
【到達目標】 コンソール、protocolsを使い生楽器の録音ができるようになる。							

授業計画・内容	
1回目	スタジオシステムを説明出来る
2回目	実際に音を出し、どのような信号の流れで録音されているのかを説明出来る
3回目	ケーブルの種類とマイクの種類を説明出来る
4回目	コンソール 信号の流れを説明出来る
5回目	マルチマイク録音時の注意点とセッティングを説明出来る
6回目	コンソール SSLの特徴を説明出来る
7回目	コンソール 各パーツの役割を説明出来る
8回目	マイキングをを説明出来る
9回目	録音レベルの取り方 HAの詳細な使い方とフィルターの使用方を説明出来る
10回目	コンプレッサーとリバーブの使用方を説明出来る
11回目	protocolsテクニックの習得
12回目	protocolsテクニックの演習を行う(効率のよい操作を習得)
13回目	protocolsテクニックの演習を行う(プラグインの使用方を習得)
14回目	protocolsテクニックの演習を行う(auto tuneを習得)
15回目	習熟度テストを行う
準備学習 時間外学習	ヒットチャートbest10に入ってる曲は常に聴いておいてください。 時間がある時はひたすらprotocolsでEDITの練習をしてください。
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)
	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
実施試験(100%)	
受講生への メッセージ	好きな事を仕事にするのには、難しい事を沢山覚えなければならない。 難しい事を遊び感覚で楽しんで、できるように工夫する事が使い方の難しい機材を覚えていく上でのコツ。 自分の好きなCDを靴に最低3枚は必ず入れて持ち歩いてください。 家で聞き慣れたCDをスタジオの良いモニター環境で空いている時間は常に聴いてください
【使用教科書・教材・参考書】	
CD	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	レコーディング I (Recording I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜3,4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。 実務者経験: 株式会社ヒットキット代表、SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。</p> <p>【到達目標】 コンソール、protoolsを使い生楽器の録音ができるようになる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	復習 スタジオシステムを操作出来る	
2回目	protoolsテクニックの演習を行う	
3回目	protoolsテクニックの演習を行う	
4回目	protoolsテクニックの演習を行う	
5回目	protoolsテクニックの演習を行う	
6回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
7回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
8回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
9回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
10回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
11回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
12回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
13回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
14回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
15回目	習熟度テストを行う	
準備学習 時間外学習	ヒットチャートbest10に入ってる曲は常に聴いておいてください。 時間がある時はひたすらprotoolsでEDITの練習をしてください。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
実施試験(100%)		
受講生への メッセージ	好きな事を仕事にするのには、難しい事を沢山覚えないとならない。 難しい事を遊び感覚で楽しんで、できるように工夫する事が使い方の難しい機材を覚えていく上でのコツ。 自分の好きなCDを靴に最低3枚は必ず入れて持ち歩いてください。 家で聞き慣れたCDをスタジオの良いモニター環境で空いている時間は常に聴いてください	
【使用教科書・教材・参考書】		
CD		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	レコーディングⅡ (RecordingⅡ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース			4	曜日・時限	月曜5,6限	
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 録音する上で全ての知識が盛り込まれてるvocal録音を毎時間、実際の現場と同じような形でレコーディングを行う。コミュニケーション力とprotocolsの正確さ、スピードを身に付けることが出来る。 実務者経験: 株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MG、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。</p> <p>【到達目標】 自分達だけでバンドレコーディングが進められるようになる。 レコーディング時の流れについてこられるprotocolsの技術力。</p>							

授業計画・内容			
1回目	コンソールの復習 信号の流れを説明出来る		
2回目	コンソールの復習 各部の使い方を説明出来る		
3回目	protocolsの復習 セットアップを説明出来る		
4回目	protocolsの復習 ショートカットを習得する		
5回目	vocalREC 全体の流れをを説明出来る		
6回目	vocalREC コミュニケーションの取り方を習得する		
7回目	vocalREC 適正なレベルと歌のコンプの使い方を習得する		
8回目	vocalREC 歌のEDITを行う		
9回目	vocalREC protocolsを扱うスピード感を習得		
10回目	vocalREC 音程の修正の仕方を習得		
11回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
12回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
13回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
14回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
15回目	習熟度テストを行う		
準備学習 時間外学習	時間のある時はスタジオでできるだけ録音をする。許す限りprotocolsを触っておく		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実施試験(100%)
受講生への メッセージ	1年生の時に覚えた知識を応用するだけです。色々な場面で適したやり方を出せるように1年の時に覚えた知識を復習しておいてください		
【使用教科書・教材・参考書】			
CD			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	レコーディングⅡ (RecordingⅡ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 録音する上で全ての知識が盛り込まれているvocal録音を毎時間、実際の現場と同じような形でレコーディングを行う。コミュニケーション力とprotocolsの正確さ、スピードを身に付けることが出来る。 実務者経験: 株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MG、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。							
【到達目標】 自分達だけでバンドレコーディングが進められるようになる。 レコーディング時の流れについてこられるprotocolsの技術力。							

授業計画・内容			
1回目	コンソールの復習 各部のセッティング・操作出来る		
2回目	protocolsの復習 セットアップ・MIX作業の操作が出来る		
3回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
4回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
5回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
6回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
7回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
8回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
9回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
10回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
11回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
12回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
13回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
14回目	vocalREC 生徒だけで現場の流れを作る。ディレクション演習を行う		
15回目	習熟度テストを行う		
準備学習 時間外学習	時間のある時はスタジオでできるだけ録音をする。許す限りprotocolsを触っておく		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実施試験(100%)
受講生への メッセージ	1年生の時に覚えた知識を応用するだけです。色々な場面で適したやり方を出せるように1年の時に覚えた知識を復習しておいてください		
【使用教科書・教材・参考書】 CD			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
実務者経験: 英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容

1回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
2回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
3回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
4回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
5回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
6回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
7回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
8回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
9回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
10回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
11回目	L.7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
12回目	L.7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
13回目	総復習
14回目	学期末試験
15回目	試験返却、解説

準備学習
時間外学習

授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	-------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------

受講生へのメッセージ

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	英会話 (English Conversation)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
実務者経験: 英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容							
1回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる						
2回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる						
3回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる						
4回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる						
5回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ						
6回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ						
7回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。						
8回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。						
9回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる						
10回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる						
11回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる						
12回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる						
13回目	総復習						
14回目	学期末試験						
15回目	試験返却、解説						
準備学習 時間外学習	授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。						
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 定期試験 (%)</td> <td rowspan="5" style="width: 50%; vertical-align: top;">評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格</td> </tr> <tr><td>2. 小テスト (%)</td></tr> <tr><td>3. レポート (%)</td></tr> <tr><td>4. 課題成果 (%)</td></tr> <tr><td>5. 実地試験 (%)</td></tr> </table>	1. 定期試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	2. 小テスト (%)	3. レポート (%)	4. 課題成果 (%)	5. 実地試験 (%)
1. 定期試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格						
2. 小テスト (%)							
3. レポート (%)							
4. 課題成果 (%)							
5. 実地試験 (%)							
受講生への メッセージ	受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。 基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	音楽史 (music history)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	水沼 慎一郎
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜5限
【授業の学習内容】 実際の楽曲を通し、様々な音楽の歴史を深く学んでいく。 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。							
【到達目標】 日本と世界の音楽史を学び比較し、これからの音楽を考えていく力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ポピュラー音楽を中心とした歴史背景の説明
2回目	日本の音楽と世界の歴史的背景
3回目	西洋音楽史①:古代の音楽
4回目	西洋音楽史②:中世の音楽
5回目	西洋音楽史③:近代の音楽
6回目	西洋音楽史④:現代の音楽
7回目	西洋音楽史⑤:ブルースからジャズ
8回目	西洋音楽史⑥:ポップス
9回目	日本音楽史①:ポピュラー全盛期
10回目	日本音楽史②:民謡
11回目	日本音楽史③:雅楽
12回目	日本と東洋・欧米の音楽的関係:俯瞰分析
13回目	テスト範囲総括
14回目	筆記テスト
15回目	テスト返却 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1:定期試験10% 2:レポート10% 3:出席率60% 4:授業態度20%
受講生への メッセージ	音楽史の硬いイメージを取り払い、今日の音楽との関わりを丁寧に伝えるよう心がけます。 年号を暗記するなどの従来の方法だけでなく、実際の曲を通し、音楽の聞き方を一緒に広く変えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書:「Western Music」Claude V. Palisca他 副読本:「音楽中辞典」池辺晋一郎 等 準備物:メモ、筆記用具等	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	音楽史 (music history)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	水沼 慎一郎
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜5限
【授業の学習内容】 海外を中心にポピュラーミュージックの歴史認識を習得する。 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。							
【到達目標】 世界的なスタンダードとされる音楽ジャンル、ミュージシャンについての知識を習得し、国内はもとより海外でも通用する知識の習得。また、日本の音楽ビジネスの現状を世界のルーツを研究することで、より深い認識を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	オリエンテーション。海外の音楽シーンの現状を把握する
2回目	楽器、機材の遍歴と音楽ジャンルの関係性を知る
3回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
4回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
5回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生①ブラックミュージックの状況
6回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生②楽器生産の動向
7回目	60年代 モータウン ブラックミュージックの革命と公民権運動
8回目	60年代 サイケデリックミュージック ドラッグカルチャーと大型ロックフェス
9回目	70年代 ハードロック、グラムロック 表現手法の多様化
10回目	70年代 ファンクミュージック、ディスコブーム
11回目	70年代 パンクロック 既存の音楽の解体
12回目	80年代 HIPHOPカルチャー MTV登場によるメディア革命
13回目	海外の音楽 エンターテインメントについて テクノロジーや最先端のパフォーマンスを探る
14回目	日本の音楽シーンを振り返る ミリオンヒットについて
15回目	筆記テスト 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1:定期試験10% 2:レポート10% 3:出席率60% 4:授業態度20%
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】 教科書:音楽史(洋楽編iPad) 配布資料他	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	音響基礎 (PA Basic)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉田 友和
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜3,4限

【授業の学習内容】

本来の音の再現性を知ること、そしてスタジオワークを理解し、できるようになること。舞台とは違う世界を体感し、実習から習得します。
※サウンドエンジニア。フリーランスとして名古屋の現場で活躍中。音楽・イベント・ミュージカルや芝居などのプランニングを幅広く手掛ける。

【到達目標】

たとえば、コンサートの直前や中身の進行で、バンド以外の音が出ることもあります。作られた動画を流す場面もあります。こういったものも、スタジオワークで制作されていることを理解して、前期終了時には、何かの制作物を作るスキルを身につけましょう。(これは講師がいなくてもスタジオを安全に使えることを大前提の目標としています)

授業計画・内容

1回目	自己紹介～なぜスタジオワークが必要かを説明出来る
2回目	スタジオでのルール①(電源から始まり、マイクの扱いなどについて習得)
3回目	スタジオでのルール②(電源から始まり、マイクの扱いなどについて習得)
4回目	実際にマイクを接続して、PAとRECの違いを耳で実感する演習を行う
5回目	声とBGMをミックスする。2つ以上のものをミックスする演習を行う
6回目	屋外で録音する難しさを実感、効果音を収録してスタジオで聴いたときの違いの演習を行う
7回目	(前週に録った)効果音を使い、声、BGM、効果音をミックスについての演習を行う
8回目	スタジオ環境だからこそ録れる小音量の収録(時計やしずくなど)
9回目	プロツールの基礎の使い方を学び、収録したものを自身のメディアに保存することを習得
10回目	チーム分けを行い、希望の制作物をヒアリング。各チームで別課題の演習を行う
11回目	(仮にA,Bの2チームとして) ①Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
12回目	②Aの編集や効果音そろえ Bのスタジオ収録の演習を行う
13回目	③Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
14回目	④Aの編集や効果音そろえ Bのスタジオ収録の演習を行う
15回目	発表会 / 評論討議

準備学習
時間外学習

評価方法

いかに熱心に取り組み、何事にも関心を持ってたか、そして習得できたかを評価します。(50%)またスタジオワークの基礎について、実習テストをします。(50%)

受講生への
メッセージ

半年で、スタジオ内の作業ができるよう、基礎を叩き込んでください。誰の助けもなく、作りたいものを制作できるスキルと信用を得てください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	音響基礎 (PA Basic)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉田 友和
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜3,4限

【授業の学習内容】

本来の音の再現性を知ること、そしてスタジオワークを理解し、できるようになること。舞台とは違う世界を体感し、実習から習得します。
※サウンドエンジニア。フリーランスとして名古屋の現場で活躍中。音楽・イベント・ミュージカルや芝居などのプランニングを幅広く手掛ける。

【到達目標】

音楽ビジネスだけで就職につながるかというと、なかなか難しいのがこの世界です。メディアなどに対応できるスキルを身に着け、チーム作業による「セルフプロデュース」、自分たちで効果的な演出がなされているか確認・修正できる人材になってほしいと考えます。

授業計画・内容

1回目	各自目標設定をしチーム分けを行い課題に取り組む
2回目	(動画・ラジオ・CMを予定しています)それぞれのメディアの特徴を解説、その後チームで演出案を考察を行う
3回目	(仮にA,Bの2チームとして) ①Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
4回目	②Aの編集や効果音そろえ Bのスタジオ収録の演習を行う
5回目	③Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
6回目	④Aの編集や効果音そろえ Bのスタジオ収録の演習を行う
7回目	⑤Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
8回目	⑥Aの編集や効果音そろえ Bのスタジオ収録の演習を行う
9回目	⑦Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
10回目	発表会 / 評論討議
11回目	(仮にA,Bの2チームとして) ①Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
12回目	②Aの編集や効果音そろえ Bのスタジオ収録の演習を行う
13回目	③Aのスタジオ収録 Bの編集や効果音そろえの演習を行う
14回目	④Aの編集や効果音そろえ Bのスタジオ収録の演習を行う
15回目	発表会 / 評論討議

準備学習
時間外学習
制作に関する音の素材などを用意して授業に臨むのはもちろんのこと、世の中にはないものは作るという選択もあります。また(前週に予告した)宿題で「こんな感情を与えたいときのBGMで有名なものは？」を、各時間の頭に、発表していただきます

評価方法
いかに熱心に取り組む、何事にも関心を持てたか、そして習得できたかを評価します。(50%)またスタジオワークの基礎について、実習テストをします。(50%)

受講生への
メッセージ
エンタテインメントは、音楽だけでなく無限にあります。人を楽しませるという思いの原点は同じだと思います。ここで学ぶ演出は、いずれコンサートなどのPAでも活かせることでしょう。なによりひと工夫もふた工夫もして、人を楽しませたい、という思いを、真剣にぶつけてみてください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松原 匠
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	金曜2限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実際の演奏に必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。</p>							
<p>【到達目標】 基本的な楽器の操作ができるようになること。課題曲の自分のパートを耳コピができるようになること。シャッフル、イーブンの違いや、ハネたリズムを理解できること。ブルース進行でバックイング、ソロ、キューを出せるようになること。</p>							

授業計画・内容		
1回目	自己紹介、1年間での具体的な目標設定	
2回目	楽器の基本的な使用方法を理解し操作できるようにする	
3回目	担当楽器のバンド内での役割を理解し演奏できるようにする	
4回目	7thのコードを理解し弾けるようにする	
5回目	ブルース進行について理解しバックイングができるようにする	
6回目	シャッフルのリズムを理解し弾けるようにする	
7回目	基本的なブルース進行でセッションができるようにする	
8回目	耳コピの方法を習得する	
9回目	耳コピで音をとり再現できるようにする	
10回目	ダイアトニックコードを理解できるようにする	
11回目	ダイアトニックコードを理解しキーチェンジができるようにする	
12回目	8分のグルーヴを体で感じ演奏できるようにする	
13回目	16分の細かいグルーヴを体で感じ演奏できるようにする	
14回目	今までのおさらい	
15回目	実技テスト	
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。	
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	アンサンブルの中で必要な技術を教えていきます。奏法や知識を使いカッコいいミュージシャンになりましょう。よろしくお願いします。	
<p>【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。</p>		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	松原 匠
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース			2	曜日・時限	金曜2限	
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 実際の演奏に必要な技術をそれぞれの技術に合った課題曲を出しながら、実践し習得していく。楽器の仕組み、音色の選び方、その音色に合った奏法、キーチェンジの方法、様々なジャンルのリズム、アンサンブルする時は何をしたら良いか、耳コピの方法を習得します。 (講師プロフィール) Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。</p>							
<p>【到達目標】 ファンク、ジャズ、ロックのリズム感を理解し、バックিংやソロを弾けるようにすること。アレンジはどのように入れれば良いかを判断できること。チャーチモードを理解し弾けるようにすること。</p>							

授業計画・内容		
1回目	前期のおさらい	
2回目	ファンクの16分のリズム感を習得し、演奏できるようにする	
3回目	ゴーストノートや休符を入れたパーカッシブなソロを弾けるようにする	
4回目	演奏しながらコーラスする方法を習得し、実践できるようにする	
5回目	ペントニックを使ったロックなフレーズを習得し、弾けるようにする	
6回目	担当パートが無い曲での演奏方法を習得し、アンサンブルに活かせるようにする	
7回目	ブルーノートなどの半音を使ったフレーズを弾けるようにする	
8回目	スイングのリズムを理解し弾けるようにする。	
9回目	II-Vを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする	
10回目	II-Vを理解し、そこに合う音使いを取得し弾けるようにする	
11回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする	
12回目	チャーチモードを理解し様々なキーで弾けるようにする	
13回目	今までのおさらい	
14回目	実技テスト	
15回目	総復習	
準備学習 時間外学習	特に必要はありません。	
評価方法	授業態度10% 出席率10% 実技テスト80%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	前期では基本的な楽器の操作や役割を習得しましたが、後期ではもう少し他のジャンルのリズムや知識を教えていきます。幅を広げて様々なジャンルに携わることができるミュージシャンを目指しましょう。よろしくお祈いします。	
<p>【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。</p>		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松原 匠
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜3限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。</p>							
<p>【到達目標】 弾き語り及び両手演奏を通して音楽の表現力を向上させる。 音楽活動をする上で必要な感性、技術等を専攻以外の分野からも学び、修得することによって自分の可能性や向上に活用、応用できる能力を身につける。</p>							

授業計画・内容		
1回目	鍵盤に慣れる(英音名、Scale、運指)長音階、半音階の理解、CMajorScale上の和音について説明出来る	
2回目	DmajorとTonic 弾き語りの準備(コード奏とスケール奏)コードを習得	
3回目	EmajorとTonic 読譜力を強化しコード進行譜の作成出来る	
4回目	FmajorとTonic コードとコードネームを説明出来る	
5回目	GmajorとTonic 一段符を見ながら伴奏形を実演出来る	
6回目	AmajorとTonic 一段符を見ながら伴奏形を実演出来る	
7回目	BmajorとTonic 中間テスト Scale、コードネームとPositionMajorコード、minorコードを習得	
8回目	D ♭ majorとTonic ジャズのフィーリングに慣れる為、既成の曲をCDに合わせて習得	
9回目	E ♭ majorとTonic CDに合わせて弾くことでアンサンブルの感覚を習得(各自のレベルに合わせる)	
10回目	G ♭ majorとTonic 弾き語りの為の伴奏形、変奏、コードを習得	
11回目	A ♭ majorとTonic 弾き語り曲、Pianosolo曲を実演出来る	
12回目	B ♭ majorとTonic 発声練習を各自でできる様に12のKeyTonic半音上行形を習得	
13回目	12のKeyのScaleを説明出来る	
14回目	12のKeyのScaleを実演出来る	
15回目	12のKeyのScaleとTonic期末テスト、弾き語り、ジャズフィーリングの曲	
準備学習 時間外学習	授業内容の復習および個人練習	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	1日1小節を目指し、ゆっくり確実に自分の力をつけて行きましょう	

【使用教科書・教材・参考書】

譜面

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	松原 匠
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜3限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 鍵盤楽器の基礎知識を身につける。鍵盤に慣れることによって、音楽理論、イヤートレーニング等の理解度を向上させ、理論と実習という並行学習を行う。弾き語りの技術習得。 <講師プロフィール> Rachel Mother Gooseのキーボーディストとしてユニバーサル・ミュージックからメジャーデビュー。その他misono等のアーティストとの共演、専門学校やスタジオ等での演奏指導、またインストゥルメンタルバンドプロジェクト WMOでの活動など、多岐に渡り活動中。</p>							
<p>【到達目標】 ・弾き語り、及びPianosoloの技術を修得し、音楽表現の幅を広げる ・「曲にする」ということを認識し、演奏力を修得する</p>							

授業計画・内容		
1回目	新曲の曲想、構成、演奏スタイルを習得。(ドレミ唱、CD鑑賞)オーホーリーナイト	
2回目	オーホーリーナイトのコード譜を作成出来る	
3回目	歌詞(英語)の発音及びフレーズ、アーティキュレーションをマスターする。コード譜作成	
4回目	日本の童謡を英語歌詞で弾き語りし、移調が出来る。T,S,Dの移調	
5回目	「オーホーリーナイト」のコード進行、構成をマスターし、伴奏出来る	
6回目	長音階、短音階以外の音階を習得。「かえるの合唱」CDで様々な音階の特徴を習得	
7回目	長音階、短音階以外の音階を習得。「かえるの合唱」CDで様々な音階の特徴を習得	
8回目	弾き語り曲及びPianosolo曲を実演出来る。メロディー奏、両手奏、コード奏	
9回目	弾き語り曲のコードを基本形で実演出来る。12のKeyのT,S,Dを完全にマスターする	
10回目	弾き語り曲のコードを転回形で実演出来る。12のKeyのT,S,Dを完全にマスターする	
11回目	中間テスト「かえるの合唱」「オーホーリーナイト」「故郷」	
12回目	「オーホーリーナイト」を自分の好きなアレンジで出来るようになる	
13回目	「ロクリアモード さくらさくら」チャーチモードの説明が出来る	
14回目	Pianosolo,弾き語り	
15回目	期末テスト	
準備学習 時間外学習	授業内容の復習および個人練習	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 実技テスト(Piano演奏力と理解度)
受講生への メッセージ	1日1小節を目指し、ゆっくり確実に自分の力をつけて行きましょう	

【使用教科書・教材・参考書】

譜面

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	河野 充生
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 アコースティック、エレクトリックの生楽器(4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど)に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。
 <講師プロフィール>ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太郎、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あい、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など。ロックバンドBlind Birdなどでも精力的に活動中。

【到達目標】
 1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。

授業計画・内容

1回目	生楽器の名称とその音色について① ギターの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
2回目	生楽器の名称とその音色について② ベースの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
3回目	生楽器の名称とその音色について③ キーボードの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
4回目	生楽器の名称とその音色について④ ドラムスの種類や音色、音源からの聴き取りが出来る。
5回目	ドラムセットについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
6回目	ドラムセットについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。
7回目	ベースについて① ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
8回目	ベースについて② ベースの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
9回目	ギターについて① ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
10回目	ギターについて② ギターの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
11回目	キーボードについて① キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
12回目	キーボードについて② キーボードの種類とその音色、基本的な奏法を習得する。
13回目	4リズムのアレンジメント 各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得する。
14回目	4リズムのアレンジメント 各楽器の役割を把握した上でのリズムアレンジを習得す
15回目	総復習とテスト。

準備学習
時間外学習

生楽器を実際に手にして演奏してみること、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	--

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】
 チャート、プリントを配布。

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽器レッスン (Musical instrument lesson)	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	河野 充生
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) アコースティック、エレクトリックの生楽器(4リズム、パーカッション、ストリングス、ホーンズなど)に関する知識を深め、基本的な音域や奏法について実習を行う。ギター、ベース、キーボード、ドラムス、パーカッションについては実際に演奏し、アンサンブルやバンドアレンジの基本的な手法を習得する。 <講師プロフィール>ライブ、レコーディングでサポートした主なアーティストは、絢香、PUFFY、森山直太郎、松浦亜弥、近藤真彦、テゴマス、川嶋あい、嵐、KinKi Kids、Kiroro、小林香織など。ロックバンドBlind Birdなどでも精力的に活動中。</p>							
<p>【到達目標】 1、様々な生楽器の名称とその音色について説明できる。 2、4リズムの内、1種類以上の楽器の基本的な奏法を習得する。 3、アンサンブルについての基礎的な知識や考え方を説明できる。</p>							

授業計画・内容							
1回目	ドラムセットについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
2回目	ドラムセットについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
3回目	ベースについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
4回目	ベースについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
5回目	ギターについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
6回目	ギターについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
7回目	キーボードについて③ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
8回目	キーボードについて④ 基本的な奏法、アンサンブル特性を習得する。						
9回目	パーカッションについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
10回目	パーカッションについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
11回目	ストリングスについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
12回目	ストリングスについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
13回目	ホーンズについて① 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
14回目	ホーンズについて② 各楽器の名称とその音色、基本的な奏法を習得する。						
15回目	総復習とテスト。						
準備学習 時間外学習	生楽器を実際に手にして演奏してみること、また様々な生楽器の音色を体感することで、作曲やDTMに於けるアイデアを沢山身につけることができます。ワークショップ形式ですので、一緒に楽しみながら演奏しましょう。						
評価方法	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 定期試験(%)</td> <td rowspan="5" style="width: 50%; vertical-align: top;">評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格</td> </tr> <tr><td>2. 小テスト(%)</td></tr> <tr><td>3. レポート(%)</td></tr> <tr><td>4. 課題成果(%)</td></tr> <tr><td>5. 実地試験(%)</td></tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	2. 小テスト(%)	3. レポート(%)	4. 課題成果(%)	5. 実地試験(%)
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格						
2. 小テスト(%)							
3. レポート(%)							
4. 課題成果(%)							
5. 実地試験(%)							
受講生への メッセージ							
<p>【使用教科書・教材・参考書】 チャート、プリントを配布。</p>							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽曲制作 I (Music production I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	にかもと りか
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース			4	曜日・時限	月曜5,6限	
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 他学科とのコラボレーションを行いながら、制作現場演習を通して「作曲スピード」「作曲内容」「基礎スキル」を習得します。 (講師プロフィール) 音楽大学在学中よりタレント活動を開始。「大ちゃんの釣りに行こう」をはじめ、NHK広島のお姉さんなどテレビでの活動を2012年まで行ったあと、ラジオを中心の活動に移行。2014年からキザクラフィッシングレポーターとして、映像も再開。ナレーションや音楽制作、歌唱なども数多く行う。</p> <p>【到達目標】 「楽曲提供」「ミュージカルBGM制作」「朗読用BGM制作」などの依頼を受け、クリエイティブな作品を制作し提供するという現場で求められるスキルと、他部署に対するコミュニケーション能力の習得を目指します。</p>							

授業計画・内容		
1回目	CM15秒尺の音源制作演習	
2回目	CM15秒尺の音源制作演習	
3回目	発表プレゼンテーションを行う	
4回目	SE ジングル制作演習	
5回目	SE ジングル制作演習	
6回目	発表プレゼンテーションを行う	
7回目	アニゼミ楽曲制作演習	
8回目	アニゼミ楽曲制作演習	
9回目	発表プレゼンテーションを行う	
10回目	演劇公演楽曲制作演習	
11回目	演劇公演楽曲制作演習	
12回目	発表プレゼンテーションを行う	
13回目	ミュージカル楽曲制作演習	
14回目	ミュージカル楽曲制作演習	
15回目	発表プレゼンテーションを行う	
準備学習 時間外学習	楽曲提供用の作品制作	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	クリエイターとして現場で求められるよう、楽曲を可能な限り沢山作り続けましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

--

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽曲制作 I (Music production I)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	にかもと りか
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース			4	曜日・時限	月曜5,6限	
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 他学科とのコラボレーションを行いながら、制作現場演習を通して「作曲スピード」「作曲内容」「基礎スキル」を習得します。 (講師プロフィール) 音楽大学在学中よりタレント活動を開始。「大ちゃんの釣りに行こう」をはじめ、NHK広島のお姉さんなどテレビでの活動を2012年まで行ったあと、ラジオを中心の活動に移行。2014年からキザクラフィッシングレポーターとして、映像も再開。ナレーションや音楽制作、歌唱なども数多く行う。</p> <p>【到達目標】 「楽曲提供」「ミュージカルBGM制作」「朗読用BGM制作」などの依頼を受け、クリエイティブな作品を制作し提供するという現場で求められるスキルと、他部署に対するコミュニケーション能力の習得を目指します。</p>							

授業計画・内容		
1回目	CM30秒尺の音源制作演習	
2回目	CM30秒尺の音源制作演習	
3回目	発表プレゼンテーションを行う	
4回目	コンセプト楽曲制作演習	
5回目	コンセプト楽曲制作演習	
6回目	発表プレゼンテーションを行う	
7回目	コラボレーション制作演習	
8回目	コラボレーション制作演習	
9回目	発表プレゼンテーションを行う	
10回目	We are NSM 制作演習	
11回目	We are NSM 制作演習	
12回目	中間プレゼンテーションを行う	
13回目	We are NSM 制作演習	
14回目	We are NSM 楽曲制作演習	
15回目	発表プレゼンテーションを行う	
準備学習 時間外学習	楽曲提供用の作品制作	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 課題成果にて評価
受講生への メッセージ	クリエイターとして現場で求められるよう、楽曲を可能な限り沢山作り続けましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】

--

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽曲制作Ⅱ (Music productionⅡ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 2年まで習得した技術や知識をもとに、集大成となるフルオリジナルアルバムを1年間かけて作成する。コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブックイング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アビール”するというマインドを習得する。 ※実務者経験:株式会社ポニーキャニオン所属 主業務はマニピュレーター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。							
【到達目標】 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。 ◆著作物を扱うレターシーを習得する。 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。							

授業計画・内容		
1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する	
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る	
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る	
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり)企画の通ったグループから作品制作演習を行う	
5回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う	
6回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※企画書提出×切	
7回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
8回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
9回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
10回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
11回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
12回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
13回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
14回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
15回目	【OC(質問事項)に対する講義】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る	
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになります。たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。全力を尽くして作品創作に臨みましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	楽曲制作Ⅱ (Music productionⅡ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース			4	曜日・時限	月曜5,6限	

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 2年まで習得した技術や知識をもとに、集大成となるフルオリジナルアルバムを1年間かけて作成する。コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブックイング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。
 ※実務者経験:株式会社ポニーキャニオン所属 主業務はマニピュレーター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】
 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容		
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認	
2回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
3回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
4回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
5回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
6回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
7回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
8回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
9回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
10回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック	
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンが出来る	
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	業界知識 (Industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺 智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース			2	曜日・時限	火曜2限	

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 総合的な音楽の知識を習得し、音楽業界で活動が出来るようになる。
 音楽でコミュニケーションが取れるようになる。
 ※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
 プロミュージシャンやクリエイター、声優俳優には移調や楽曲制作、演奏に必要な基礎知識、裏方には照明や台本に照らし合わせてタイミングや間の取り方を、そして音楽の基礎知識をあまり必要としない学科の学生にも、学び方や、考え方の多面性を育てることが目標。

授業計画・内容		
1回目	＜楽譜の歴史＞ ファンデーションカリキュラムの説明、楽譜を時代ごとに追っていき、古代から現代への移り変わりを説明出来る	
2回目	＜音名＞ 鍵盤と音名の一致 楽器ごとの音域を説明出来る	
3回目	＜音符、休符＞ 音符、休符の表し方を説明出来る	
4回目	＜拍子記号＞ 小節線について、単純拍子、複合拍子は紹介のみ、タイ、シンコペーションを説明出来る	
5回目	＜反復記号＞ 反復記号を学び、音源を使用して楽譜の読み方を習得	
6回目	＜スコアリーディング＞ 楽譜と音源を使用し、前半の総復習を行う	
7回目	＜確認テスト＞ 確認テスト	
8回目	＜メジャースケール＞ メジャースケールの仕組み、#系のメジャースケールの仕組みを説明出来る	
9回目	＜メジャースケール＞ 5度圏の仕組みを説明出来る	
10回目	＜メジャースケール＞ b系のメジャースケールの仕組みを説明出来る	
11回目	＜記譜法、臨時記号＞ 調号を臨時記号の違い、臨時記号の効力、正しい楽譜の書き方を習得	
12回目	＜テンポ記号＞ 速度記号、速度標語を説明出来る	
13回目	＜強弱記号＞ 速度記号強弱記号を説明出来る	
14回目	＜スコアリーディング＞ 楽譜と音源を使用し、後半の総復習	
15回目	中間テスト	
準備学習 時間外学習	宿題はほぼありませんが。毎回プリントを提出して頂きます。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	基礎から楽しく学んでいきましょう。	

【使用教科書・教材・参考書】
 Ipad教科書、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	業界知識 (Industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺 智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース			2	曜日・時限	火曜2限	

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 総合的な音楽の知識を習得し、音楽業界で活動が出来るようになる。

音楽でコミュニケーションが取れるようになる。

※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】

コード理論を学ぶにあたって、楽曲分析や作曲など創作に必要な知識を習得。

授業計画・内容

1回目	<マイナースケール> マイナースケールの仕組み、5度圏を用いてナチュラルマイナーを説明出来る
2回目	<マイナースケール> ハーモニックマイナーを説明出来る
3回目	<マイナースケール> メロディックマイナーを説明出来る
4回目	<近親調> 各調の関係を楽譜を用いて習得
5回目	<移調> 5線を用いて移調をできるようになる
6回目	<奏法> 省略記号、奏法記号を説明出来る
7回目	<奏法> 装飾記号を説明出来る
8回目	確認テスト
9回目	<トライアド> コードの概念とトライアドの構造についてを説明出来る
10回目	<7thコード> トライアドの知識を踏まえ7thコードに発展させることが出来る
11回目	<dim7と7thコードの復習> トライアドと7thコード、dimコードの構造と響きの違いを曲を用いて説明出来る
12回目	<その他のコード> add9コードについて説明出来る
13回目	<その他のコード> sus4,6thコードについて説明出来る
14回目	期末予備テスト
15回目	期末テスト

準備学習
時間外学習

コードについてのプリントで宿題が出来ます

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	出席率 期末テスト
------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	--------------

受講生への
メッセージ

コードについて学ぶことは全ての演奏者にとって大切なことです。頑張りましょう!

【使用教科書・教材・参考書】

Ipad教科書、ワークブック

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作曲・編曲 I (Composition Arrangement I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 主にメジャーダイアトニックコードについて、またコード進行制作の基礎を習得 (講師プロフィール) 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 ダイアトニックコードの理解とコードトーンを理解 ダイアトニックコードを使用したコード進行を制作できるようになる							

授業計画・内容		
1回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得	
2回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコードを使ったコード進行と定番のコード進行を習得	
3回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード、コードトーンを使ったメロディーについてを習得	
4回目	Key of G・Dのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得	
5回目	Key of A・E・Fのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得	
6回目	メジャーダイアトニックコードについての復習	
7回目	中間テスト	
8回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、ディグリーネームを使った演	
9回目	#系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得	
10回目	b系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得	
11回目	sus4コードの紹介と使用法を習得	
12回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う	
13回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う	
14回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う	
15回目	実技テスト	
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましよう。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作曲・編曲 I (Composition Arrangement I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 主にメジャーダイアトニックコードの復習にあわせサブドミナントマイナーコードについて、またコード進行制作とメロディーのアナライズを行う事により、楽曲制作の基礎を習得。Bluesなど特殊なコード進行についても学び、音楽の視野を広げる。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 ダイアトニックコードとノンダイアトニックコードを理解しコード進行制作ができる 楽曲のアナライズ(コード進行・メロディーライン)が行えるようになる							

授業計画・内容		
1回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得	
2回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得	
3回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う	
4回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う	
5回目	II m7-V7進行を習得	
6回目	II m7(b5)-V7(b9)進行を習得	
7回目	中間テスト	
8回目	Blues進行を習得	
9回目	Blues進行とJazz Bluesを習得	
10回目	II m7-V7を使用したコード進行についてを習得	
11回目	II m7-V7を使用したコード進行について実践できる	
12回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)①	
13回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)②	
14回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)③	
15回目	期末テスト	
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましよう。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作曲・編曲Ⅱ (Composition ArrangementⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜2,3限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ①ヒット曲やルーツ音楽のアナライズ②特殊なコード進行を理解、説明出来る
 <講師プロフィール>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
 様々な楽曲に触れハーモニー感覚を養う
 分析する力を養い、楽曲制作のアイデア・ネタを集める。

授業計画・内容

1回目	ヒット曲のアナライズ① ドラムのリズムパターンとベースのコンビネーションを習得
2回目	ヒット曲のアナライズ② ピアノがメインで演奏させる場合の他のパート演奏について理解、説明出来る
3回目	ヒット曲のアナライズ③ ラインクリシェについて理解、説明出来る
4回目	ヒット曲のアナライズ④ 転調のある楽曲とピボットコードについて理解、説明出来る
5回目	ヒット曲のアナライズ⑤ 代理和音・セカンダリドミナントについて理解、説明出来る
6回目	ヒット曲のアナライズ⑥ ブルージー7thコードについて理解、説明出来る
7回目	中間テスト
8回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ① コードとスケールの関係について、ノンダイアトニックコード□m7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
9回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ② コードとスケールについて、dim7やaug7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
10回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ③ コードとスケールについて、ドミナントモーションする□7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
11回目	スタンダードソングのメロディーアナライズ④ コードとスケールについて、ドミナントモーションしない□7でのスケールとメロディーラインを理解、説明出来る
12回目	Bluesの楽曲構成を習得
13回目	Jazzなどの楽曲構成を習得
14回目	BluesやJazzなどの楽曲構成を習得
15回目	期末試験

準備学習
時間外学習

授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。
 授業で習った事を実践してみましよう。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
------	--------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------

受講生へのメッセージ

- 1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。
- ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。
- 各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。
- DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作曲・編曲Ⅱ (Composition ArrangementⅡ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜2,3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) トラックアンドフックについて、トラックメイク(コード進行とリズム)、フックライティング(印象的なメロディーをつくる)、編曲の演習を行う (講師プロフィール)日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方 を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携 わる。							
【到達目標】 自分の得意とする作曲法の確立と楽曲制作							

授業計画・内容		
1回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、マックス・マーティン洋楽ヒットソングについて理解、説明出来る	
2回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、織田哲郎とBメロの大切さを理解、説明出来る	
3回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、小室哲哉と転調についてのアイデアを理解、説明出来る	
4回目	有名な作曲家の作品をアナライズ、アラン・メンケンを理解、説明出来る	
5回目	フックライティングを習得	
6回目	フックライティングと簡易録音機器について習得	
7回目	フックライティングと簡易録音機器について習得	
8回目	フックライティング演習	
9回目	サビメロ作成からのBメロ作成編曲について理解、説明出来る	
10回目	フックライティング演習	
11回目	サビメロ作成からのBメロ作成編曲について理解、説明出来る	
12回目	エレクトロダンスミュージックを理解、説明出来る	
13回目	エレクトロダンスミュージックのアナライズとDAWを使つてのトラックメイクについて理解、説明出来る	
14回目	エレクトロダンスミュージックのアナライズとDAWを使つてのトラックメイクについて習得	
15回目	エレクトロダンスミュージック演習	
準備学習 時間外学習	授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。 授業で習った事を実践してみましよう。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	●1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。 ●ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。 ●各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。 ●DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作曲・編曲Ⅲ (Composition ArrangementⅢ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜3,4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 様々なジャンルのアレンジスタイル(楽器構成、フレージング)をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basicアレンジ(リズム、ベース、メインのコード楽器)の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。 <講師プロフィール>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。							

授業計画・内容			
1回目	R&B編 1、Basicアレンジ プログラミング演習		
2回目	R&B編 1、上モノアレンジ Track完成／R&B編 2、Basicアレンジ プログラミング演習		
3回目	R&B編 2、上モノアレンジ Track完成		
4回目	R&B編 3、Basicアレンジ プログラミング演習		
5回目	R&B編 3、上モノアレンジ Track完成／R&B編 4、Basicアレンジ プログラミング演習		
6回目	R&B編 4、上モノアレンジ Track完成		
7回目	実践編 1、Vo素材に対してのアレンジワーク演習(R&B編を踏まえて)		
8回目	4つ打ちBeat編 1、Basicアレンジ プログラミング演習		
9回目	4つ打ちBeat編 1、上モノアレンジ Track完成／4つ打ちBeat編 2、Basicアレンジ プログラミング演習		
10回目	4つ打ちBeat編 2、上モノアレンジ Track完成		
11回目	4つ打ちBeat編 3、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
12回目	4つ打ちBeat編 4、Basic & 上モノアレンジ Track完成		
13回目	実践編 2、Vo素材に対してのアレンジワーク演習(4つ打ちBeat編を踏まえて)		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自由曲のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	課題 100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたいければ、真剣に取り組んで下さい。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作曲・編曲Ⅲ (Composition ArrangementⅢ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜3,4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 様々なジャンルのアレンジスタイル(楽器構成、フレージング)をMIDIプログラミングの実習を通して学ぶ。Basic アレンジ(リズム、ベース、メインのコード楽器)の重要性を理解し、フレーズの組み立て音のバランス感覚を身に付ける。 <講師プロフィール>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 楽曲コンペ、企業課題採用レベルのアレンジスキル、MIDIプログラミングスキル習得。							

授業計画・内容			
1回目	Basicアレンジ演習		
2回目	Funky Groove 1 Track 完成/Basicアレンジ演習		
3回目	Funky Groove 2 Track 完成		
4回目	Basicアレンジ演習		
5回目	Funky Groove 3 Track 完成/Vo素材に対してのアレンジワーク		
6回目	Vo素材に対してのアレンジワーク(Funky Groove編を踏まえて)		
7回目	Basicアレンジ演習		
8回目	Rock 1 Track 完成		
9回目	Basicアレンジ演習		
10回目	Rock 2 Track 完成		
11回目	Basicアレンジ演習		
12回目	Pop Track 完成		
13回目	Vo素材に対してのアレンジワーク(Rock、Pop編を踏まえて)		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	様々なジャンルの曲を好き嫌いなく、楽器編成、配置、セクション別の変化の付け方等、アレンジに注目して聞き込む。自由のMIDIプログラミングを面倒臭がらずにキッチリと行う。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	課題 100%
受講生への メッセージ	頭に描いた曲のイメージを具現化する為に必要不可欠なスキルです。楽曲制作の本当の楽しさを知りたければ、真剣に取り組んで下さい。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作詞 I (Lyrics making)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白井 大輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義、演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜2,3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作詞のベーシックを覚える。作詞の制作行程を段階にわけ、言葉探しの技を習得する。 <講師プロフィール> 大阪を中心にシンガーソングライターとして活動。CM楽曲の担当や、ラジオ局のオープニング曲、イベントのイメージソングなど、クライアントのコンセプトに合わせ多数の楽曲を提供。							
【到達目標】 作詞に関する基礎知識の習得。							

授業計画・内容			
1回目	授業概要／作詞概論を習得		
2回目	作詞技法.1／作詞基礎、自分言葉の認識を習得		
3回目	作詞技法.2-1／言葉の連想法／類語の使い方を習得		
4回目	作詞技法.2-2／字数の変更トレーニング／類語トレーニングを行う		
5回目	作詞技法.3／字数と1音の使い方を習得		
6回目	作詞技法.4／ワンワードからの連想による構成の作り方を習得		
7回目	作詞技法.5-1／5W1Hの法則、起承結の構成を習得		
8回目	作詞技法.5-2／起承結を使ったワンコーラス作詞制作を行う		
9回目	作詞技法.5-3／起承結を使ったワンコーラス作詞制作／添削を行う		
10回目	作詞技法.6／言葉のリズムとブロック／言葉のダイエットを習得		
11回目	作詞技法.7-1／比喩表現、擬人化を習得		
12回目	作詞技法.7-2／比喩表現トレーニング／添削を行う		
13回目	作詞技法.8／タイトルのつけ方を習得		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	課題100%
受講生への メッセージ	言葉を意識して探す、そのトレーニングを積んでいきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 授業時に配布するプリント各種。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作詞 I (Lyrics making)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白井 大輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義、演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜2,3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作詞のベーシックを覚える。作詞の制作行程を段階にわけ、言葉探しの技を習得する。 <講師プロフィール> 大阪を中心にシンガーソングライターとして活動。CM楽曲の担当や、ラジオ局のオープニング曲、イベントのイメージソングなど、クライアントのコンセプトに合わせ多数の楽曲を提供。							
【到達目標】 作詞に関する基礎知識の習得。							

授業計画・内容			
1回目	作詞技法.10/ジャンル別による表現法/ラップ、韻について/韻化トレーニングを行う		
2回目	韻化トレーニング/Rap詞制作を行う		
3回目	Rap詞制作/添削 /感想の書き合いを行う		
4回目	作詞技法.11/童謡、キッズソングに見る作詞法を習得		
5回目	キッズソング作成トレーニングを行う		
6回目	作詞技法.12/英語詞と日本語詞を混ぜたハイブリッド作詞法を習得		
7回目	ハイブリッド作詞トレーニング1コーラス演習		
8回目	作詞技法.13/CMソングに見る作詞法 /CMソング作成トレーニングを行う		
9回目	CMソング作成トレーニング/添削&提出を行う		
10回目	OUTPUTレビュー.2 /価値観アンケートを行う		
11回目	作詞実践.3/フルコーラス制作演習		
12回目	作詞実践.3/フルコーラス制作演習		
13回目	作詞技法まとめ トレーニング集		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	課題100%
受講生への メッセージ	言葉を意識して探す、そのトレーニングを積んでいきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 授業時に配布するプリント各種。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作詞Ⅱ (Lyrics making Ⅱ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白井 大輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義、演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜4,5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作詞の実践。様々な楽曲ジャンルの作詞の制作を行い、商業音楽制作における対応力を習得。 (講師プロフィール) 大阪を中心にシンガーソングライターとして活動。CM楽曲の担当や、ラジオ局のオープニング曲、イベントのイメージソングなど、クライアントのコンセプトに合わせ多数の楽曲を提供。							
【到達目標】 制作スピードの向上、制作スキルの向上、柔軟な対応力の強化。							

授業計画・内容			
1回目	授業概要／作詞課題.1／スピード作詞演習vol.1		
2回目	課題.1の添削&掘り下げ／作詞課題.2／スピード作詞演習vol.2		
3回目	課題.2の添削&掘り下げを行う		
4回目	作詞課題.3／キャラの引き継ぎ作詞演習		
5回目	課題.3の添削&掘り下げを行う		
6回目	作詞課題.4／イメージ作詞演習		
7回目	課題.4の添削&掘り下げを行う		
8回目	作詞課題.5／世界観作詞演習		
9回目	課題.5の添削&掘り下げを行う		
10回目	作詞課題.6／アイドル作詞演習		
11回目	課題.6の添削&掘り下げを行う		
12回目	作詞課題.7／スピード作詞演習vol.3		
13回目	課題.7の添削&掘り下げを行う		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	制作時間内に書き上がらなかった場合は、持ち帰っての制作あり。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	課題100%
受講生への メッセージ	量が質を生みます。たくさん書きましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 授業時に配布するプリント各種。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	作詞Ⅱ (Lyrics making Ⅱ)	必修 選択	選択必修	年次	3	担当教員	白井 大輔
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義、演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜4,5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作詞の実践。様々な楽曲ジャンルの作詞の制作を行い、商業音楽制作における対応力を習得。 (講師プロフィール) 大阪を中心にシンガーソングライターとして活動。CM楽曲の担当や、ラジオ局のオープニング曲、イベントのイメージソングなど、クライアントのコンセプトに合わせ多数の楽曲を提供。							
【到達目標】 制作スピードの向上、制作スキルの向上、柔軟な対応力の強化。							

授業計画・内容			
1回目	コンペの発注書から楽曲の制作方向を読み取る／作詞からのアプローチの考え方を習得		
2回目	イメージ作詞 / 漫画・映像からのインスピレーションで作詞を行う		
3回目	イメージ作詞 / (完成・提出) / 添削・感想書き合い / 楽曲アナライズ演習1		
4回目	コンペの発注書から楽曲の制作方向を読み取る／作詞からのアプローチの考え方を習得		
5回目	シーズンもの作詞 / 季節のイベントにあわせて作詞を行う		
6回目	シーズンもの作詞 / (完成・提出) / 添削・感想書き合いを行う		
7回目	コンペの発注書から楽曲の制作方向を読み取る／作詞からのアプローチの考え方を習得		
8回目	タイアップ案件 / 実際の発注書から、オーダーを読み解き作詞を行う		
9回目	タイアップ案件 / (完成・提出) / 添削・感想書き合い / 楽曲アナライズ演習2		
10回目	アルバム案件 / 実際の発注書から、オーダーを読み解き作詞を行う		
11回目	アルバム案件 / (完成・提出) / 添削・感想書き合いを行う		
12回目	作詞プロデュース.1> 企画書、キャラクターコンセプト制作、楽曲イメージ作成演習		
13回目	作詞プロデュース.1> 制作 / 発表演習		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	課題制作用に渡されたデータを整理し、授業外の時間で積極的に復習に使用する		
評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	課題100%
受講生への メッセージ	言葉を意識して探す、そのトレーニングを積んでいきましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 授業時に配布するプリント各種。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	著作権 (Copyright)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林 達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) エンターテインメント業界に従事する者にとって「音楽著作権」は必要不可欠な知識です。最近ではライブハウスなどで「著作権」を無視して営業したために、訴訟問題にまで発展するケースが各地で起きています。 ※米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師							
【到達目標】 業界人として最低限必要な「著作権」について学びます。							

授業計画・内容	
1回目	「著作権」が何かを理解できるようになる。
2回目	パクリは著作権法違反なのか理解できるようになる。
3回目	発明や特許と著作権の違いを理解できるようになる①
4回目	発明や特許と著作権の違いを理解できるようになる②
5回目	著作権にはいろいろな権利があることを知る①
6回目	著作権にはいろいろな権利があることを知る①
7回目	アーティストにも著作権に似た権利があることを知る。
8回目	日本音楽著作権協会(JASRAC)について理解する①
9回目	日本音楽著作権協会(JASRAC)について理解する①
10回目	日本音楽著作権協会(JASRAC)について理解する②
11回目	日本音楽著作権協会(JASRAC)について理解する②
12回目	ヒット曲を出すためのカラクリを理解する。
13回目	著作権の未来を考える。
14回目	筆記試験
15回目	答案用紙の返却と授業のまとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	①定期試験(50%) ②課題成果(10%) ③出席率(40%)
受講生への メッセージ	講義は教科書をはじめCDやDVDなどを使った座学です。 著作権の成立の背景やその内容は勿論、声優の現場での使用状況や将来展望まで講義します。 ホワイトボードに板書した事柄をノートに筆記するため、ノート、筆記用具は必需品です。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書(ipad収録)CD、DVD	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	著作権 (Copyright)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林 達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜5限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) テレビやラジオ放送に関わる実務や知識はもちろん、一般企業でも必要な話す、聞くなどといったコミュニケーション能力の アップを目指す。 ※米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマ ネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師							
【到達目標】 業界に必要な知識を、演習を通して身につける。							

授業計画・内容	
1回目	業界に必要なコミュニケーション力を習得する。
2回目	プレイリストを作り、選曲の知識を習得する。
3回目	レポーターに必要な感性とは何かを理解する。
4回目	インタビューが出来るようになる①
5回目	インタビューが出来るようになる②
6回目	リライトが出来るようになる①
7回目	リライトが出来るようになる②
8回目	選曲技術が理解できるようになる①
9回目	選曲技術が理解できるようになる②
10回目	制作実習を行う①
11回目	制作実習を行う②
12回目	放送倫理を知ることが出来る①
13回目	放送倫理を知ることが出来る②
14回目	筆記試験
15回目	答案用紙の返却と授業のまとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	①定期試験(50%) ②課題成果(10%) ③出席率(40%)
受講生への メッセージ	講義は教科書をはじめCDやDVDなどを使った座学です。 著作権の成立の背景やその内容は勿論、声優の現場での使用状況や将来展望まで講義します。 ホワイトボードに板書した事柄をノートに筆記するため、ノート、筆記用具は必需品です。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書(ipad収録)CD、DVD	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	著作権 (Copyright)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林 達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブックイング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション／音楽業界の構造(1)／日本のレコード産業・全体像□	
2回目	音楽業界の構造(2)／日本レコード協会・JASRAC□	
3回目	著作権の基礎(1)概要／構造	
4回目	著作権の基礎(2)歴史／現在□	
5回目	アーティストの権利／印税とは	
6回目	収入シミュレーション(CD販売)	
7回目	収入シミュレーション(ダウンロード／音楽配信)	
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分□	
9回目	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など	
10回目	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち	
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権	
12回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎(1)	
13回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎(2)	
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察	
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み□	
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□	
【使用教科書・教材・参考書】		
使用教科書(学校より配布):よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏) 参考書:18歳の著作権入門 (福井 健策)		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	著作権 (Copyright)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	林 達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。 ※米国Art Institute of Seattle(ミュージックビジネス専攻)卒業。CD店舗マネージャー、ライブブックイング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

授業計画・内容

1回目	音楽業界の構造・応用編(1) □	
2回目	音楽産業の構造・応用編(2) □	
3回目	著作権の必須知識／使える著作権	
4回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(1) □	
5回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用(2)	
6回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(1)	
7回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など(2) □	
8回目	国際的な音楽活動／世界の音楽ビジネス事情 □	
9回目	音楽ビジネスにおける各種契約(1)	
10回目	音楽ビジネスにおける各種契約(2)	
11回目	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷	
12回目	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点	
13回目	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル	
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編	
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み □	
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習	
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□	
【使用教科書・教材・参考書】		
使用教科書(学校より配布):よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏) 参考書:18歳の著作権入門 (福井 健策)		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる 4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる 							

授業計画・内容	
1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか?「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク:業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク:業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク:人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク:希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク:夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク:業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク:セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返りを行う
13回目	グループワーク:振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2022年度 シラバス

科目名 (英)	ビジネスマナー (Business manner)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	阿部 哲也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目を更に充実したものにするために、夢をかなえ音楽業界で活躍する先輩たちの話を聞く「OBOGセミナー」、音楽業界の方から業界が求める人物像について学ぶ模擬オーディションを別途開催すると共に、視野を広げて主体性を身につけるためにイベント出演など校外学習を実施する。 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> セルフマネジメント(自己理解)を実践できる チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる プロフィールシート作成ができるようになる 							

授業計画・内容	
1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動>・自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動>・自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 課題成果(50%) 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>筆記用具 iPad</p>	